

防犯チェックリスト

住居選択

- 1 住居を選択する前に
 - 当国の治安などに関するブリーフィングを十分受けたか。
 - 警備員の信頼性を把握したか。
 - 住居の選択に際し、ほかの日本人の助言を得たか。
 - 地域の危険分析を的確に行ったか。
 - 危険に応じた「住居安全対策基準」を自分なりに定めたか。
 - 市街地図（主に道路）を入手し、図上研究を行ったか。
 - 信頼できる住宅業者がいるか。
- 2 ルートの安全確保
 - ルートの道幅は、比較的広くかつ安全か。
 - ルートの路面で損傷の激しい箇所を覚えているか。
 - 決まった目的地まで行くのに、危険地域を通らなくても済むか。
 - 学校やスーパーなど殆ど毎日出かける場所までの安全は十分か。
- 3 地域の安全確保
 - 住居周辺の治安情勢を確認したか。
 - 問題地域に隣接していないか。
 - 住居の周辺に賊が潜めるような場所はないか。
 - 住居が監視される場所が近くにないか。
 - 不審者や不審車両に対する警戒が容易か。
- 4 住居の安全確保
 - 独立家屋を取り巻く四方のうち三方は、他の住居に囲まれているか。
 - 隣の住居の住人等について調査したか。
 - 住居への出入り（特に車両）は安全かつ迅速に行える構造か。
 - 住居の安全対策は、周辺の住居の安全対策（外観）に比べて同等以上か。
 - 家主は住居の安全対策強化に積極的か。

3つの防衛線による住居の安全対策

建物の内外3ヶ所に物理的・段階的な防衛線を設け、これらに人的・物的両面から必要な対策を取り、外部からの侵入などの住居に対する各種の危険から防護するという考え方が極めて効果的です。

◆第1次防衛線（外周の防衛線）

独立家屋の場合には敷地境界線、集合住宅の場合には共通の出入り口（ロビー玄関の外側）。

◆第2次防衛線（建物外周）

独立家屋の場合には住宅建物地域（建物エリア）の外周を構成する線、集合住宅の場合には住宅部の外周を構成する防衛戦。

◆第3次防衛線（建物内部）

独立家屋、集合住宅いずれの場合も第2次防衛線内に設けた避難区域（通常主寝室）に設定する防衛線。

1 独立家屋の第1次防衛線

【外 塀】

- 外部から簡単に侵入できない構造にあるか。
- 高さや堅牢性は十分か。
- 外壁を乗り越えられる箇所はないか。
- 外塀から直接住居の2階や屋根に忍び込み得る構造にないか。
- 外周に照明設備はあるか。
- 塀の上に障害（例えば鉄条網、忍び返しなど）が設置されているか。
- 侵入警戒装置、TV監視装置などが設置されているか。
- 外部から住宅内部が覗かれないか。

【門 扉】

- 鍵がなければ容易に侵入できないものか。
- 外塀の高さと堅牢性に合致しているか。
- 来訪者を確認する手段（インターホン等）があるか。
- 周辺に照明設備があるか。
- 周辺に賊が身を潜める場所はないか。
- 門扉の内部から外の安全を確認できるか。

【駐車場】

- 住宅敷地内にあるか。
- 車の出入りが迅速かつ安全に行えるか。
- 駐車場の扉は、人の出入り扉と区別されているか。
- リモコンによる扉の自動開閉装置があるか。
- 駐車場内に賊が身を潜める場所はないか。
- 駐車場内に照明設備があるか。

2 集合住宅の第1次防衛線

【共通の出入り口（玄関ロビー）】

- 建物内部へは住居者以外の者が勝手に出入りできない構造か。
- 全ての出入り口は管理人又は守衛により管理されているか。
- 全ての出入り口は堅牢で、錠前がついているか。
- 周辺に賊が身を潜める場所はないか。
- 出入り口周辺に照明設備があるか。
- 来訪者の確認（インターホン等）が容易か。
- 夜間の出入り口の管理は万全か。
- 守衛、カード式鍵、TV監視装置などの管理は十分か。

【駐車場】

- 敷地内（外塀の内側）にあるか。
- 車の出し入れが迅速かつ安全に行えるか（守衛による駐車場扉の開閉、リモコンによる自動開閉装置）。

- 24時間体制で管理人又は守衛により管理されているか。
- 周辺に賊が身を潜める場所はないか。
- 照明設備は十分か。
- 夜間の管理は万全か。

【建 物】

- 警報装置はあるか。
- 防火設備、非常階段などはあるか。
- 内外の照明設備は十分か。
- 賊が侵入する箇所（弱点）はないか。
- 耐震性は十分か。

3 独立家屋と集合住宅の第2次防衛線

【入口扉（玄関）】

- 扉と扉の枠は頑丈か。
- 2つ以上の錠前とドアチェーン又はデッドロックが付いているか。
- 扉に覗き穴、インターホン等来訪者が確認できる手段が付いているか。
- 扉の周囲に窓（賊が手を伸ばして窓を開ける）がないか。
- 周辺に照明設備（常夜灯）があるか。
- センサーなどの侵入警戒装置があるか。

【その他の出入り口】

- 扉と扉の枠は頑丈か。
- 鍵などが2つ以上付いているか。
- センサーなどの侵入警戒装置があるか。

【窓】

- 窓と窓枠は頑丈かつ安全（ロックは確実か）なものか。
- 独立家屋の場合、全ての窓に鉄格子が取り付けられているか。
- 集合住宅の場合、賊が容易に侵入できる箇所（テラス、階段等）はないか。
- 天窗、トイレの小窓、クーラーの取り付け部などにも鉄格子があるか。
- 鉄格子は取り外されたり、押し曲げられない強度か。
- センサーなどの侵入警戒装置はあるか。
- 緊急脱出の際、一部の窓の補強装置は内側から開閉できるか。

【建物】

- 建物全体として侵入されない構造か。
- 屋根、床下などから侵入されない構造か。
- 建物内部に警報装置などがあるか。

4 独立家屋と集合住宅の第3次防衛線

- 主寝室などを避難室にするための工事は容易か。
- 入口扉と扉の枠は頑丈か。
- 窓に鉄格子が取り付けられているか。
- 壁、天井、床の強度は十分か。
- 電話（独立回線が望ましい）はあるか。
- 緊急時に必要な物、貴重品を保管する場所があるか。

車両管理

1 車の購入

- 盗難警報装置、小型無線機などの設置を考えたか。
- セキュリティー・フィルム又は飛散防止フィルムの装着を考慮したか。
- 自動車保険に加入したか。
- 自動車保険は、盗難、事故など全てをカバーしている保険であるか。
- 自動車保険は、滞在国の支払額を十分にカバーできる内容か
- 後日、十分な整備、ケアをしてくれる販売会社か。
- 部品がそろっている販売会社か。
- 全般的に不具合箇所はないか。

2 日常の車の整備及び状態

- 燃料は常にタンクの半分以上（理想）あるか。
- 常に管理の十分な駐車場に駐車しているか。
- 路上駐車はしていないか。

- 必ずロックをしているか。
- トランク内に予備用の水、オイル等を積んでいるか。
- 貴重品を車内に放置していないか。

3 車で移動

- 乗り降りの都度、周囲の安全を確認しているか。
- 車に乗り込む時は、外周、車体下、タイヤ等を点検しているか。
- 移動時の行動パターン（ワンパターンにならない）を考慮しているか。
- 路上駐車をさせているか。
- 道路事情を把握しているか。
- 目的地までのルートと、代替ルートを計画しているか。
- 警察、消防、病院、政府機関等の所在地を把握しているか。
- 走行中、ドアロックは確実に実施しているか。
- 走行中、貴重品を外部から見える位置に置いていないか。
- 脇道をさけ、交通量の多い道路を走行しているか。
- 車間距離は十分か。
- 不審車両に尾行された場合に、対処行動を予め計画しているか。
- 緊急時の際に使用する、電話番号リスト等を持参しているか。

4 運転手を雇用する

- 運転手に緊急時に必要な運転技術教育を行っているか。
- 運転手に警備員としての自覚を持たせているか。
- 運転手に常に車のそばにいるよう指導しているか。
- 非常時の合図などを決めているか。
- 移動のパターンを変えるように教育しているか。

生活面の安全対策

1 引っ越し後

- 周囲の環境を把握（道路、地形等）したか。
- 警察、消防、病院等の所在地及び連絡先を確認したか。
- 最寄りの知人等の連絡方法を確認したか。
- 住居の安全対策上の弱点を把握したか。
- 住居の安全対策上の弱点を補う検討をしたか。
- 警備員の雇用を検討したか。
- 近所がどのような安全対策を取っているか確認したか。

2 来訪者に対する注意

- 来訪者の身元を確認してから対応しているか。
- 配達人（物）に対する警戒は十分か。
- 見知らぬ者（物売り、工事人など）を敷地内へ入れていないか。

3 使用人に対する注意

- 使用人の雇用（審査）は、信頼できる人からの紹介によるものか。
- 使用人の身元調査（特に正直さ、信頼性）を行ったか。
- 安全上の心得を機会あるごとに教育しているか。
- 許可無く来訪者を敷地内へ入れないように指導しているか。
- 家人が不在時の緊急連絡先を使用人に知らせているか。

- 使用人に隙（犯罪を誘発する環境）を見せていないか。
- 常に適切な管理と指導を行っているか。

4 家族に対する注意

- 家族各人は安全に対する関心を持っているか。
- 住居に関する異常が発生したときの行動要領を熟知しているか。
- 無線機等の使い方を知っているか。
- 子女の通学路の安全は十分か。
- 家族各人の行動、居場所を常に把握しているか。

5 外出に際しての注意

- 場所や日程の決まった外出をしていないか。
- 戸締まり、施錠漏れの点検を行ったか。
- 火もと（特にタバコの後始末）の点検を行ったか。
- 出発・帰宅時に周囲の警戒を怠っていないか。
- 無線機又は携帯電話を携帯しているか。
- 華美な服装をしていないか。
- 現金は、分散して持ったか。

6 電話

- 電話機の側に緊急連絡先等のリストが常備されているか。
- 使用人が私用で電話をかけていないか。
- 電話を取る際に、こちらから名乗っていないか。